

堺市民会館整備計画 検討懇話会（第3回）



平成24年4月23日（月）

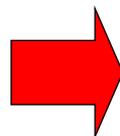
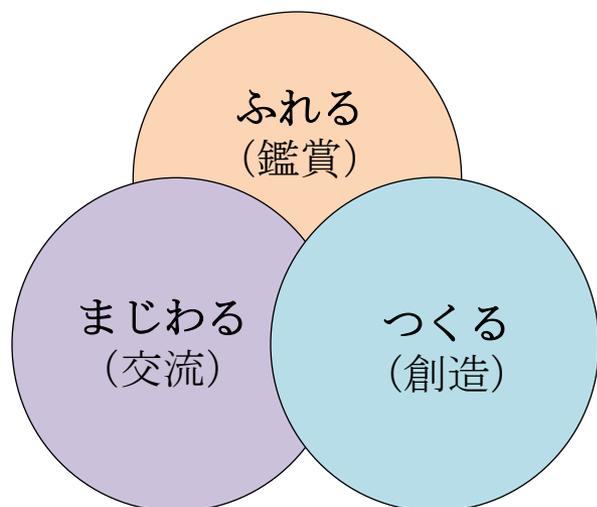
堺市 文化課

事業方針

3つの事業方針に基づき事業を展開することにより、本市の都市イメージの向上やまちの賑わいの創出に寄与します。

- 事業方針1 市民が優れた舞台芸術などを「鑑賞」する機会の提供
- 事業方針2 市民が多様な文化芸術を「創造・発表」する環境の整備
- 事業方針3 市民が多様な文化芸術と「交流」する機会の提供

文化芸術を通じた感動・喜び
都市魅力の創造・発信



文化力の向上

都市イメージや
都市格の向上

まちの賑わいの創出

鑑賞事業

市民が優れた舞台芸術などを「鑑賞」する機会の提供

○優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供

⇒文化による新たな都市イメージの創造・確立

○国内外の多彩な文化芸術を鑑賞する機会を拡充

⇒市民文化の活性化、まちの賑わいの創出



世界で活躍する指揮者やソリストが
参加するオーケストラの公演

グランドオペラやミュージカル等の
音楽劇をはじめとする国内外の
優れた舞台芸術の公演

国内外の多彩な文化芸術の公演
(ポップス、演歌、演劇、演芸、古典
芸能等)

堺を拠点に優れた舞台芸術・音楽
活動に取り組む団体による公演

※創造・発表事業、普及・育成事業に再掲

創造・発表事業

多様な文化芸術を「創造・発表」する環境の整備

○堺を拠点に優れた舞台芸術・音楽活動に取り組む団体との連携

⇒堺市独自の文化の創造と発信

○市民が日頃の活動成果を発表することができる檜舞台として整備

⇒さらなる創造・発表への意欲の増進

○多様な文化芸術や参加者の相互の交流を促進

⇒新たな市民文化の創造に寄与



堺を拠点に優れた舞台芸術・音楽活動に取り組む団体の創造活動への支援・連携

全国規模のコンクール、フェスティバルの企画・誘致

音楽やダンス、演劇など、著名な芸術家や講師を招いてのレッスンの開催・発表会の実施

市民利用による発表会・講演会等の場の提供

市内の文化団体による交流イベントの開催

市民参加によるイベント・コンクールの開催

市民による企画展示の場を提供
(市民の文化活動の紹介パネル展など)

普及・育成事業

市民が多様な文化芸術と「交流」する機会の提供

○文化芸術活動の新たな担い手となる子どもやこれまで文化芸術に接する機会がなかった市民に気軽に文化芸術に親しむことができる機会を提供

⇒より多くの市民に文化芸術に対して興味や関心を持ってもらうことにより、
文化芸術活動の裾野を拡大

○幼少期から優れた文化芸術に触れる機会の充実

⇒豊かな感性や創造性を育む



事業内容

ファミリーコンサート、ワンコインコンサート、ランチタイムコンサート等、気軽に楽しめ文化に触れる裾野を広げるプログラムの実施

堺を拠点に優れた舞台芸術・音楽活動に取り組む団体等との連携による小学校や病院、福祉施設などへのアウトリーチ事業の実施

公開リハーサルやバックヤードツアー、楽器に触れる機会の提供など、文化芸術を身近に体験できる参加体験型プログラムの実施

アートマネジメント人材等の育成プログラムの実施

子ども達が優れた文化芸術に触れる機会を拡げる事業の実施

文化芸術に関する様々な知識を得ることができる市民向けの講座やワークショップ

演出家・専門家等の解説・レクチャーなどをセットにした公演

ホームページや情報誌などを活用した地域文化団体の活動内容や実績を広くPR

案件1

整備計画(素案)の検討について

事業計画について

事業計画等を踏まえた主な施設内容

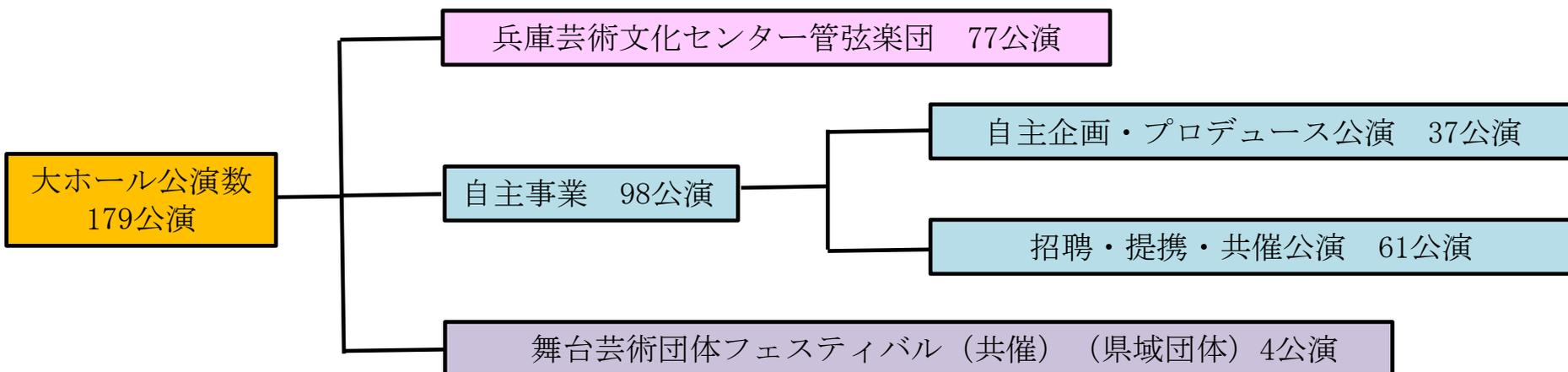
区分	用途	主な施設内容
ホールエリア	優れた舞台芸術や多彩な公演、発表会など	大ホール
	多彩な舞台芸術公演や市民利用を中心とした発表会、大規模な集会など	多目的ホール
交流・創造支援 エリア	日常的な練習、小規模な発表会や集会など	リハーサル室、練習室、会議室
共用エリア	ロビー、カフェ等などで構成する利用者の共用空間	エントランスロビー、駐車場、駐輪場、カフェ等のサービス部門、情報コーナー
管理運営 エリア	事務室、機械・電気室、警備員室等で構成する施設管理のための空間	管理事務室、物品倉庫、機械・電気室等

施設利用形態の検討

○他施設の施設利用状況

		利用可能 日数 A	自主事業 公演数 B	自主事業 利用日数 C	1公演当たり 利用日数 C/B	自主事業 利用割合 C/A
びわ湖ホール (H22)	大ホール	245日	24公演	108日	4.5日	44.1%
	中ホール	252日	21公演	122日	5.8日	48.4%
	小ホール	297日	16公演	70日	4.4日	23.6%
横須賀芸術劇場 (H22)	大劇場	291日	38公演	48日	1.3日	16.5%
	小劇場	334日	22公演	49日	2.2日	14.7%
兵庫県立芸術 文化センター (H22)	大ホール	312日	179公演	255日	1.4日	81.7%
	中ホール	307日	122公演	209日	1.7日	68.1%
	小ホール	303日	40公演	70日	1.8日	23.1%

○兵庫県立芸術文化センター（H22） 大ホール利用状況



利用日数及び利用割合は、161日、50%程度と推定

施設利用形態の検討

(1) 本施設における自主事業（鑑賞事業）の考え方

- 鑑賞事業においては、館主催・共催事業のほか、一般的には貸館に分類される興行（商業公演）の誘致も自主事業の定義に含めるものとする。
- この定義の自主事業の利用割合を、大ホールについては、兵庫県立芸術文化センター大ホールの推定自主事業利用割合50%及び中ホールの自主事業利用割合68.1%を参考に60%と設定する。
- 多目的ホールについては、30%と設定する。

(2) 利用可能日数

- 年365日のうち、施設の利用可能日数を300日と設定する。
- 残りの65日は、休館日に加え、設備等の保守点検日を見込む。

(3) 自主事業利用日数の試算

- 施設利用可能日数をもとに試算した自主事業利用日数は大ホールが180日、多目的ホールが90日となる。
- 1公演当たりの施設利用日数を約2日と設定した場合、大ホールで90公演、多目的ホールで45公演の計算となる。

事業の参考事例

●鑑賞事業及び創造・発表事業

既存事業名	開催日／場所	概要等	入場者数	入場者率	費用負担
堺シティオペラ 第25回定期公演 「椿姫」	平成22年 12月18日～19日 【堺市民会館】	定期公演はプロデューサーを中心に、演出家、装置・照明プランナー等による市民会館のステージを最大限に使用した素晴らしい舞台を制作するとともに演奏技術や市民主体による運営方法等が注目を集め、市民オペラのレベルを超える公演として知られている。[S席12,000円～C席4,000円] 指揮：菊池彦典 演出：岩田達宗 管弦楽：大阪交響楽団 出演：老田裕子、渡邊美智子ほか	1,901人	86.40%	補助金 7,500千円 を支出
ラブサウンズ コンサート シリーズ	平成22年度 19公演 21ステージ 実施 【堺市民会館】	「文化を通じて市民に愛され、世界に誇りうるまちづくり」をコンセプトに、認知度及びクオリティの高い催しを実施 *美輪明宏／平原綾香／葉加瀬太郎 谷村新司／FUNKY MONKEY BABYSなど [チケット価格：3,000円～8,000円]	23,987人	—	—

※（類似事業例）

事業名	事業費等	客単価
ラブリールホール マイタウンオペラ	約12,000千円	3,500円
川西市民オペラ	約20,000千円	5,000円

事業の参考事例

●普及・育成事業

既存事業名	開催日／場所	概要等	入場者数	入場者率	費用負担
「はばたけ堺！ 歓びを歌声に」 第九コンサート	平成22年 4月29日 【堺市民会館】	プロのオーケストラ、ソリストと市民 公募合唱団との共演、市民参画による舞 台公演といった事業形態により実施。 * 初心者練習6回、合同練習7回、オケ合 わせ1回 ※チケット:2,000円 指揮：現田茂夫 管弦楽：大阪シンフォニカー交響楽団 ソリスト：並河寿美、田中友輝子、 清水徹太郎、田中勉 合唱：はばたけ堺！市民第九合唱団 (団員：186人)	993人	71.60%	7,678千円
市民参加型演劇 「ハードタイムス」	平成20年 3月1日～2日 【西文化会館】	演出家・岩崎氏の指導のもとワーク ショップを経たオーディションにより29 名を選出。近松作「女殺油地獄」を現代 演劇に蘇らせた作品。 作・演出 岩崎正裕 (劇団太陽族) 出演：市民27名 ※チケット:1,800円	374人	—	4,788千円

※ (類似事業例)

事業名	事業費等	客単価
市民合唱とオーケストラ (川西市)	約6,000千円	3,500円
AI・HALL+岩崎正裕共同制作演劇	約7,500千円	3,000円
市民ミュージカル (豊中市)	約7,500千円	2,500円

大ホールにおける自主事業公演の検討

(1) 自主事業公演の内訳

- 国内外のクラシックコンサートやオペラなど優れた舞台芸術公演やファミリーコンサートなど舞台芸術の普及に繋がる事業を想定
- 軽音楽、ポピュラーなどの公演も合わせて行うものと想定
- 公演の形態は、館主催（買取）や招聘、提携、共催等で実施し、あわせて積極的な誘致活動を行うものとする。

	公演イメージ	計	館主催 (招聘、提携、共催等を含む)	現状 [文振財団、市民会館事業込み]	誘致	現状
公演数	海外オーケストラ・オペラ等	3 本	1 本	0 本	2 本	0 本
	国内オペラ・バレエ、ポップス等	15 本	5 本	1 本	10 本	0 本
	国内オーケストラ、ポップス、軽音楽等	42 本	10 本	20 本	32 本	0 本
	室内楽コンサート、ヴァイオリン、ピアノコンサート等	18 本	12 本	6 本	6 本	0 本
	普及型コンサート (学生向け公演等)	12 本	12 本	0 本	0 本	0 本
	計	90 本	40 本	27 本	50 本	0 本
1公演当たり利用日数		-	2 日		2 日	
自主事業利用日数		180 日	80 日		100 日	
利用日数/利用可能日数		60 %	27 %		33 %	

多目的ホールにおける自主事業公演の検討

(1) 自主事業公演の内訳

演劇や伝統芸能など多彩な公演やワンコインコンサートなどを行うこととし、公演の約半数を館主催、残りの半数を誘致（貸館）して実施することを想定

	公演イメージ	計	館主催 (招聘、提携、共催等を含む)	現状 [文振財団、市民会館事業込み]	誘致	現状
公演数	演劇、伝統芸能 (能・狂言) 等	12 本	6 本	0 本	6 本	0 本
	伝統芸能 (落語) 等	21 本	11 本	2 本	10 本	0 本
	新進アーティスト による公演、普及型 公演等	12 本	6 本	5 本	6 本	0 本
	計	45 本	23 本	7 本	22 本	0 本
1公演当たり利用日数		-	2 日		2 日	
自主事業利用日数		90 日	46 日		44 日	
利用日数/利用可能日数		30%	15 %		15 %	

案件2

整備計画(素案)の検討について

施設計画について

【概要】

- ・音楽利用に重点をおいた多機能ホール
- ・クラシック演奏において最適な音響性能の確保
- ・優れた舞台芸術や多彩な公演に対応できる舞台の規模や装置と拡張性を確保
- ・市民が優れた舞台芸術とふれあうに相応しい鑑賞空間

○客席

- ・2,000席程度（オーケストラピット使用時）を基本とする。
- ・優れた視認性と快適性の確保
- ・車いす席、親子鑑賞室

○舞台

- ・資器材の搬出入が円滑かつ容易に行えるよう地上階に設置
- ・プロセニウム形式
- ・主舞台、両袖に主舞台と同程度のスペース
- ・開口部及び奈落（様々な演出に対応）
- ・主舞台、袖舞台間の可動壁は、公演と作業が同時に行える防音性能を確保

○特殊舞台設備

- ・音響反射板
- ・オーケストラピット（客席としても使用可能）
- ・様々な演目に対応できる吊物機構・照明・音響設備など

○倉庫

- ・ 舞台への搬出入が容易な場所に確保
- ・ ピアノ庫は、空調・湿度管理が可能であり遮音性能を有するもの
- ・ 大道具、舞台備品、照明器具、音響器具等の収納庫や作業エリア



○搬出入口

- ・ 一般観客用車両と明確な動線分離
- ・ 袖舞台に面する屋内にガルウイング車（11t）2台が同時に積降作業が可能なスペース
- ・ 搬出入口付近に同サイズの車両2台以上が待機できるスペース
- ・ 作業音が屋外・舞台などへ漏れない構造
- ・ 袖舞台から奈落フロアへの搬出入用エレベーター
- ・ 大道具や資器材等の円滑な搬出入が可能な通路、エレベーター等の仕様



○楽屋まわり

- ・ 舞台フロアを基本に機能的に配置
- ・ 出演者が円滑に移動できるような廊下等の規格
- ・ 出演者の出待ちや面会などに対応するアーティストラウンジや主催者控室
- ・ オーケストラピット付近のオーケストラ待機スペース
- ・ 共用の給湯室、シャワー室、洗濯室、トイレなど

○ロビー

- ・ 入場前の観客の整列スペースとしても利用できるスペース
- ・ チケットブース

○ホワイエ

- ・ 十分な広さのホワイエ及びビュッフェなどのスペース
- ・ 幕間時間の短縮など公演が円滑に進行できるように各階に十分な数のトイレを確保
(オストメイト対応多目的トイレを含む)
- ・ クローク
- ・ 授乳室

○その他

- ・ 外部からの音や振動の影響を受けず、ホールから外部へ影響を及ぼさない防音・防振への対策
- ・ 機械、音響・調光・投光、投影室等への防振・遮音対策
- ・ 空調設備への防振・騒音低減対策
- ・ 中継車、電源車の駐車スペース及び舞台までの仮設ケーブルのルート確保

多目的ホールエリア

【概要】

- ・ 演劇や伝統芸能など多彩な舞台芸術や発表会
- ・ 大規模な集会、コンベンションなど幅広い用途に対応
- ・ 用途や規模にあわせて空間を有効に利用できるよう、平土間型で遮音性の高い可動間仕切りや可動席を整備
- ・ 多用途に対応できる空間として汎用性を確保するために必要な装置や設備を確保

○客席数

- ・ 舞台公演時 700席（スタンディングの場合、最大収容人数1,000人）程度
- ・ 可動間仕切りによる分割時には各200～300席程度

○舞台

- ・ プロセニウム形式（可動）
- ・ 主舞台は昇降式又は仮設
- ・ 主舞台、両袖舞台
- ・ センターステージ、スラストステージなどの仮設舞台が設置可能
- ・ 舞台への資器材の搬出入が円滑かつ容易に行えるように工夫

○特殊舞台設備

- ・ 多彩な演目に対応できる舞台、照明、音響等の基本設備など

多目的ホールエリア

○倉庫

- ・ 舞台への搬出入が容易な場所に確保
- ・ ピアノ庫は、空調・湿度管理が可能であり遮音性能を有するもの
- ・ 照明・音響用器材庫



○搬出入口

- ・ 一般観客用車両と明確な動線分離
- ・ 搬出入用エレベーターに面する屋内にガルウイング車（11t）1台が積降作業できるスペース
- ・ 搬出入口付近に同サイズの車両1台が待機できるスペース
- ・ 搬出入口に面する場所に搬出入用エレベーター
- ・ 大道具や資器材等の円滑な搬出入が可能な通路、エレベーター等の仕様



○楽屋まわり

- ・ 舞台フロアを基本に機能的に配置
- ・ 出演者が円滑に移動できるような廊下等の仕様
- ・ 共用の給湯室、シャワー室、トイレなど

○ロビー

- ・ 入場前の観客の整列スペースとしても利用できるスペース

○ホワイエ

- ・ 十分な広さのホワイエ
- ・ 最大収容人数を考慮した十分な数のトイレ（オストメイト対応多目的トイレを含む）
- ・ 授乳室
- ・ コインロッカー、自販機コーナーなどの設置スペース

○その他

- ・ 外部からの音や振動の影響を受けず、ホールから外部へ影響を及ぼさない防音・防振への対策
- ・ 機械、音響・調光・投光、投影室等への防振・遮音対策
- ・ 空調設備への防振・騒音低減対策

○リハーサル室（大練習室）

- ・ 公演前のリハーサル、日常的な練習、小規模な発表会や集会等に対応できる空間
- ・ オーケストラや吹奏楽等が練習できる規模
- ・ リハーサル室として必要な設備、防音機能など

○練習室

- ・ 市民の日常的な練習の場として利用できる空間
- ・ 中・小練習室
- ・ 録音、ミキシング、アナウンス設備（必要に応じて）

○会議室

- ・ 市民の交流の場として利用できる空間
- ・ 大規模な公演時に楽屋として使用

共用エリア

○エントランスロビー

- ・館全体の共用ロビーとして市民に広く開かれたスペース
- ・情報発信に活用可能なスペース

○カフェ等

- ・全ての来館者が利用可能な飲食スペース

○駐車場・駐輪場

- ・附置義務条例を基本に必要な駐車スペースを検討
- ・歩行者等への安全確保、混雑緩和
- ・附置義務条例を基本に必要な駐輪スペースを検討

○情報コーナー

- ・気軽に舞台芸術の情報（公演に関するポスター・チラシ、舞台芸術に関する雑誌や書籍）等を得ることができるスペース

○事務室

- ・施設の管理運営を行うスタッフの執務スペース
- ・施設貸出の受付スペース
- ・応接室、更衣室、会議室、物品倉庫など

○チケットセンター

- ・来館者がチケットを購入できる窓口

○その他諸室

- ・楽屋受付、警備員控室、清掃員控室 など

○機械室

- ・電気・機械室、中央監視スペースなど

その他施設計画における留意点

新たな都市空間の創出

市民に親しまれる文化芸術活動の拠点としてふさわしい都市空間を創出と都心地域における市の玄関口にふさわしい賑わいの創出や風格ある景観形成に寄与

環境への配慮

環境モデル都市・堺として、新エネルギーシステムの導入、省エネ技術の導入、エネルギー効率の高い設備機器等の導入、雨水利用等

災害発生時の配慮

帰宅困難者等へ食料品、飲料水、トイレの貸し出し、被災時の情報、休憩スペース等の提供に寄与するため、非常用自家発電装置の整備や防災備蓄倉庫の設置等について検討

安全・安心への配慮

大勢の観客等を安全に避難誘導できる動線の確保及び、施設のバリアフリー化や館内表示への配慮など

同時利用への配慮

防音、防振機能の充実はもとより、適切な動線の確保、サービスヤードを含めた効率的な諸室の配置など

ランニングコスト等の縮減

使用目的や頻度を考慮した舞台機構や装置、設備の導入

主な施設機能の整備イメージ

現在の市民会館

大ホール 1,395席 2,568㎡
稼働率(区分) 63%
(音楽 31%・演劇 9%・舞踊 6%)
(講演会、会議 11%)

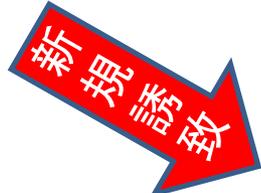
小ホール 256席 359㎡
稼働率(区分) 41%

大集会室 300人 244㎡
稼働率(区分) 57%
(講演会等 44%)

小集会室 100人 157㎡
稼働率(区分) 54%

多目的室 約30人 67㎡
稼働率(区分) 50%

会議室(3室) 約80人 125㎡
稼働率(区分) 56%



舞台芸術系

集会系

新しい市民会館

大ホール
客席 2,000席程度(オーケストラピット使用時)
舞台 プロセニウム形式
主舞台、両袖に主舞台と同程度のスペース
その他 楽屋等諸室

多目的ホール
床仕様 平土間 (防音可動壁で分割可能)
客席数 最大収容人数1,000人程度
舞台公演時 700席程度(可動式座席)
講演会、会議等 200~300席程度(分割時)
舞台(昇降式または仮設)

リハーサル室(大練習室)

中・小練習室

会議室

カフェ等のサービス部門、情報コーナー など

管理事務室、物品倉庫、機械・電気室等

ホールエリア

創造交流
支援エリア

共用
エリア

管理運営
エリア